

## 事業概要及び測量説明会における主な質問と回答及び意見・要望

### 八王子都市計画道路3・3・74号左入美山線（北西部幹線道路）

日時：第1回 令和4年10月27日（木） 19：00～20：30

第2回 令和4年10月28日（金） 19：00～20：30

場所：八王子市立川口小学校体育館（第1回）

八王子市立元木小学校体育館（第2回）

#### ●主な質問と回答

##### 【説明会について】

**Q1** 今回の説明会は、事業化予定区間の計画線内に入る土地所有者のための説明会なのか。

A1 今回の説明会は、事業化予定区間に土地をお持ちの方とその周辺の方々をはじめ、北西部幹線道路についてお知りになりたい方々にも広報等で周知をしました。説明会は、事業化予定区間の計画内容等を聞いていただき、ご意見等を伺うために開催しました。

##### 【事業について】

**Q2** 今後のスケジュールと、道路の完成時期はいつか。

A2 説明会を終えた後、事業化予定区間の測量範囲の皆様チラシを配布し、現況測量、用地測量を実施します。また、事業着手の手続きを令和6年度に予定しています。その後用地説明会を実施し、用地の取得をさせていただきたいと考えています。一般的な事業区間は1キロメートル以下で、用地取得から概ね7年から10年で完成となりますが、本事業化予定区間は1.6キロメートルと長いため、一般的な事業区間より時間を要すると考えています。

**Q3** 開催された説明会では、北西部幹線道路のうち秋川街道から幹線2級26号までの事業化予定区間1.6キロメートルだけの説明である。この先、全線開通に向けて、東京都はどのように事業化を進めようと考えているのか。

A3 北西部幹線道路全線8.8キロメートルのうち東京都の施行する6.5キロメートルは、平成28年度の第四次事業化計画に記載されており、平成28年度から10年間で事業に着手すべき路線になっています。そのため、他区間についても順次事業を進めてまいりたいと考えておりますが、今のところ、次の着手時期は未定という状況です。

**Q4** 北西部幹線道路と秋川街道や幹線2級26号との交差の形状はどうなるのか。また、事業化予定区間と交差する他の道路にも出入りできるのか。出入りできる道路は広げるのか。

A4 北西部幹線道路と交差する道路のうち、2車線道路（秋川街道・幹線2級26号）との交差箇所については、信号機の設置を検討しています。その他の市道との交差箇所は北西部幹線道路に出入りできるように考えています。なお、高低差のある私道との交差箇所は、今後測量作業を終えた後、検討してまいります。また、北西部幹線道路に出入りする道路の拡幅は考えておりません。

**Q5** 秋川街道からの掘割区間（擁壁設置区間）はどこまでなのか。なお、その擁壁の上に転落防止の柵は付くのか。また、掘割で土地が分かれてしまう方のために橋を架けたりしないのか。

A5 秋川街道からの掘割区間は延寿院手前の市道145号との接続箇所付近までの計画となっています。擁壁上の転落防止の対策は実施したいと考えていますが、検討はこれからです。また、この掘割区間を行き来する手段等については、市道145号と市道147号をご利用いただくことを考えておりますが、実際にこれから測量や設計を進め、高低差の程度がはっきりした段階で個別に調整させていただきたいと考えています。

**Q6** 秋川街道側の掘割区間は高低差が大きくなるが、擁壁の厚さは1メートルで問題無いのか。

A6 秋川街道に近い箇所の擁壁は、高低差が10メートルに近いものもあり、擁壁の厚さを1.5メートル程度になると考えております。

**Q7 歩道幅員の5.75m、また、全体幅員の22mは必要なのか。**

A7 歩道幅員は、安全な歩行空間や自転車通行空間の幅員として必要だと考えています。また、この都市計画道路は災害時の避難や緊急物資の輸送などの役目も果たすため、この幅員で整備を進めさせていただきたいと考えています。

**Q8 都市計画変更素案説明会で、将来の一日最大交通量が1万6千台と聞いているが、それはどこか。**

A8 ご質問の区間は、今回の事業化予定区間より東側の谷野町付近の区間になります。

**Q9 大型車混入率はどれくらいを予測しているのか。**

A9 将来の大型車混入率は予測しておりません。

**Q10 道路の形状が大きく変更になる。道路を造るとき実施している環境影響評価が行われていない。法律では明記されているようだが、近隣の状況が変わり、交通量などにも大きな変化がある。事業が大きく変わるときには環境影響評価をやらなければならないと理解しているが、どのように考えているのか。**

A10 東京都の環境影響評価条例では、高速自動車道路、自動車専用道路以外の道路については、対象規模が4車線以上でかつ改築する延長が1キロメートル以上と明確に記載されています。当該路線は2車線道路なのでこれに該当しないため、環境影響評価は行いません。

**Q11 新たに出来る北西部幹線道路の沿道の騒音が心配である。**

A11 事業化予定区間は幅員の広い歩道を整備するため、車道と沿道の宅地との距離を十分に確保します。また、自動車の通るところには低騒音舗装を採用することで、周辺沿道の騒音に対して配慮します。

**Q12 新たに出来る北西部幹線道路の沿道の排気ガスが心配である。**

A12 事業化予定区間の将来交通量は約 13,000 台と秋川街道の平日より少し多くなりますが、幅員の広い歩道を整備し、車道と沿道の宅地との距離を十分に確保し、排気ガスに対して配慮します。なお、排気ガス等の大気に関しては、八王子市内に、東京都の一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局と言った施設があり、令和3年度に測定した二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質などの環境基準を満たしており、今後、新たにこの道路が通った場合でも、環境基準は守られるものと考えています。

**Q13 工事が始まった後、その騒音や振動についてはどのように考えているのか。夜間工事はあるのか。また、家屋にひびが入った場合の補償はあるのか。**

A13 工事中の騒音・振動については低騒音・低振動の建設機械を使用することを考えています。夜間工事に関しては、極力行わないように考えています。家屋の損害に関しては、一定の定められた機械を使用する場合、その工事個所からの距離などにより、工事の事前と事後に家屋調査を行わせていただき、何かしらの損傷があれば、その結果を基に補償させていただくことがあります。

**Q14 2車線の道路でも幹線道路と言えるのか。**

A14 本路線は、住民の皆様の安全性、利便性の向上に資するだけでなく、圏央道の八王子西 IC と中央道の八王子 IC にも接続し物流拠点等のアクセスを強化することに加え、万が一の大規模な災害があった際の支援活動に寄与するなど非常に大きな役割を担っており、この道路を幹線道路といっています。

**Q15 車道が2車線ということは、片側1車線の通行ができるということか。**

A15 上下線1車線ずつ通行できるため合わせて2車線となります。

**【測量について】**

**Q16 話し合いで境界について納得できなかった場合に、都が勝手に境界を決めることがあるのか。**

A16 あくまでも境界は、所有者の方々に納得いただいた上で決まります。都が、一方的に境界を決めることはありません。

**Q17 計画線が大きくずれることはあるのか。**

A17 大きくずれることはないと考えています。現在ある図面の縮尺が1/2500であるため、図面での1ミリメートルが現地では2.5メートルになります。これは、図面の線に太さがある分多少の誤差が出てくるということであり、計画線がずれるということではありません。正確な計画線の位置は、今後の現況測量・用地測量を実施した後に明確になります。

**【用地取得について】**

**Q18 計画線外の残地は取得してくれるのか。**

A18 原則として、事業に必要な範囲以外の土地は取得いたしません。なお、事業に伴い土地の一部を取得したことによって、残った土地に利用価値の減少等が見込まれる場合には、損失補償基準に基づき、その損失額を金銭で補償する場合があります。

**Q19 どのような場合に土地収用法を適用するのか。**

A19 土地の取得に関しては、関係権利者の方々との話し合いによりご理解をいただき、合意の上で取得させていただき任意による契約を基本としております。しかし、どうしても話し合いで解決できない場合には、「土地収用法」の定める手続きにより、収用委員会の公正な判断を得て土地を取得することもあります。

**Q20 営業に関する補償は行ってもらえるのか。**

A20 補償項目の中に、「営業補償」という項目はありますが、補償については、事業着手の手続き後に用地取得の進め方や補償のあらましをお知らせする「用地説明会」を予定しており、そこで説明させていただきます。

なお、個別の補償内容については、お譲りいただく土地の状況（残地の面積・状況等）や建物・工作物等の調査、権利の調査、土地の評価等を経て、個別の協議の中で説明させていただくことになります。

**Q21 移転先について、同様の条件の土地を用意してもらえるのか。**

A21 移転先（代替地）については、それぞれ個別の事情やお考えがありますので、基本にご本人に探していただくようお願いしております。ただ、話し合いの中でご要望があれば、できるだけ情報提供には努めたいと考えています。

**【その他】**

**Q22** 川口土地区画整理事業の川口物流拠点からの交通量は何台か。

A22 川口物流拠点の1日の発生集中交通量は、6,700台と推計されております。

**Q23** 八王子市が施工中の2工区の完成目途はいつか。

A23 令和10年度末を完成目途としていると八王子市より伺っております。

**Q24** 八王子市が施工中の2工区の土地の取得率は何パーセントまで進んでいるのか。

A24 現在約95パーセントの取得率だと八王子市より伺っております。

●意見・要望

【事業について】

- 1 歩道が広すぎるので、狭くして、コストダウンを図るべきである。

【用地取得について】

- 2 他の自治体では、計画線にかかる土地は全て買ってくれているところもあるので、当事業でも、残地も含めて全て買い取って欲しい。